

2021 年度

特定行為研修を組み込んでいる

認定看護師教育課程(B 課程)

《 募 集 要 項 》



静岡県立
静岡がんセンター

目 次

I. 静岡県立静岡がんセンター認定看護師教育課程の概要

1. 教育理念
2. 教育目的
3. 教育期間
4. 特定行為実習について
5. 修了要件

II. 分野と募集人員

III. 出願資格

IV. 分野別選抜要項及びカリキュラム概要

1. 皮膚・排泄ケア分野
2. 緩和ケア分野
3. がん薬物療法看護分野
4. がん放射線療法看護分野
5. 乳がん看護分野

V. 出願手続き

1. 出願書類
2. 出願書類提出方法
3. 出願受付期間
4. 受験票の送付
5. 入学検定料
6. 出願・受験の取り消し
7. 出願上の注意
8. 入学試験の個人情報について

VI. 入学試験

1. 試験日と会場
2. 合格発表

VII. 入学手続きおよび納付金

1. 入学手続き
2. 納付金
3. 入学手続き後の辞退について

VIII. 試験結果の開示

I. 静岡県立静岡がんセンター認定看護師教育課程の概要

1. 教育理念

成長と進化を継続し、人々を徹底支援できる人材を育成する。

2. 教育目的

- 1) がんの臨床・研究・教育を担うがん専門病院の教育課程として、患者家族、看護職者等に対し、特定の看護分野において高い臨床推論と病態判断力に基づき、熟練した看護技術、知識を用いて支援できる能力を培う。
- 2) 組織横断的に活躍する看護実践者、チームリーダーに必要なスキルを持ち、特定の看護分野を強みとして、人々をリードできる能力を培う。
- 3) 特定の看護分野のケア・医療の質を俯瞰できる視点と実践した看護（実践、指導、相談）について省察できる力を持ち、あるべき姿に向かって自分自身をリードできる能力を培う。

3. 教育期間

12 か月間（2021 年 4 月～2022 年 3 月）

< 年間スケジュール >

2021年									2022年		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開講式	eラーニング (自施設で勤務しながらの学習) 登校日あり			講義・演習・実習・科目試験 (集合教育)			認定・特定行為 実習		統合 演習	修了 試験	修了 式

4. 特定行為実習について

臨床実習場所は受講生の所属施設（自施設）で行うことを強く推奨しています。自施設で実習を行う利点として、実習中や実習後においても継続した臨床実習指導医の指導やサポートを受けやすいことや実習調整のしやすさに加え、実践に近い環境で学べる点などがあると考えています。

< 自施設実習の要件 >

- 1) 所属施設の医療安全体制、緊急時の対応体制を構築していること
- 2) 臨床実習指導者を確保できること
 - (1) 臨床実習指導者とは以下のものをいう
 - ① 臨床研修指導医
 - ② 7年以上の臨床経験があり、医師・医学生への指導経験を有する医師
 - ③ 特定行為研修修了者（平成22～24年の試行事業含む）
 - ④ 専門看護師、認定看護師、大学での教授経験を有する看護師
 - (2) 特定行為研修指導者講習会を受講していることが望ましい
 - (3) 指導者には必ず医師が含まれていること
- 3) 患者への同意説明体制がとれること
- 4) 実習期間内に該当症例数の確保等の要件を満たす体制が望ましい

5. 修了要件

- 1) 当該分野の認定看護師教育基準カリキュラムで定める全教科目（共通科目、認定看護師分野専門科目、特定行為研修区分別科目、統合演習、臨地実習）において、履修すべき時間数の5分の4以上を出席し、かつ教育機関の定める各教科目の試験に合格すること。
- 2) 教育機関の定める修了試験に合格すること。

II. 分野と募集人員

分野名	募集人員
皮膚・排泄ケア分野	10名
緩和ケア分野	10名
がん薬物療法看護分野	10名
がん放射線療法看護分野	10名
乳がん看護分野	10名

III. 出願資格

出願資格は以下の要件をすべて満たしていることを条件とする。

- 1) 日本国の看護師の免許を有する。
- 2) 看護師免許取得後、通算5年以上（注1）実務研修（注2）をしていること。
- 3) 2)のうち通算3年以上は特定の看護分野（認定看護分野）の実務研修をしていること。
各分野の『実務研修内容基準』を満たすこと。
- 4) 編入学者（注3）の入学要件は、2) 3)と同様とする。

（注1） 通算年数については、2020年8月末時点とする。

（注2） 実務研修とは看護師としての看護実務経験を意味し、フルタイム勤務でない場合には、1,800時間以上の勤務時間をもって1年相当とみなす。

（注3） 編入学者とは、特定行為研修を修了しており、認定看護師教育を受けるために入学する者を指す。

IV. 分野別選抜要項及びカリキュラム概要

1. 皮膚・排泄ケア分野

1) 選抜要項

実務研修 内容基準	1) 通算3年以上、皮膚・排泄ケア領域における看護実績を有すること。 2) 皮膚・排泄ケア領域における看護を5例以上担当した実績を有すること。ただし、創傷、ストーマ、排泄管理の事例を各1例以上含むこと。 3) 現在、皮膚・排泄ケア領域における看護を行う臨床現場に勤務していることが望ましい。
筆記試験 内容	【選択解答式問題】 ・臨床実践に関する基本知識、施策 ・皮膚・排泄ケア領域における解剖生理学や病態、ツール、用語 ・皮膚・排泄ケア領域における看護ケア 【事例記述式問題】 皮膚・排泄ケア領域患者の臨床場面で、患者の状況についてのアセスメントやケアを問う

2) カリキュラム概要

(1) 教育目的

- ① 皮膚・排泄ケア分野において、個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践できる能力を育成する。
- ② 皮膚・排泄ケア分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行える能力を育成する。
- ③ 皮膚・排泄ケア分野において、看護職等に対しコンサルテーションを行える能力を育成する。
- ④ 皮膚・排泄ケア分野において、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせる能力を育成する。

(2) 教科目と時間数

共通科目 380時間		時間数	専門科目 195時間		時間数
1. 臨床病態生理学	40	1. 皮膚・排泄ケア概論	15		
2. 臨床推論	45	2. 皮膚のアセスメントとケア	30		
3. 臨床推論：医療面接	15	3. 精神面のアセスメントとケア	15		
4. フィジカルアセスメント：基礎	30	4. 排便機能に破綻をきたす病態の理解と評価	15		
5. フィジカルアセスメント：応用	30	5. 排尿機能に破綻をきたす病態の理解と評価	15		
6. 臨床薬理学：薬物動態	15	6. ストーマの管理	30		
7. 臨床薬理学：薬理作用	15	7. 排泄障害の管理	30		
8. 臨床薬理学：薬物治療・管理	30	8. 創傷のアセスメントと管理	45		
9. 疾病・臨床病態概論	40				
10. 疾病・臨床病態概論：状況別	15				
11. 医療安全学：医療倫理	15				
12. 医療安全学：医療安全管理	15				
13. チーム医療論（特定行為実践）	15				
14. 特定行為実践	15	特定行為研修 区分別科目 68時間		時間数	
15. 指導	15	1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	22		
16. 相談	15	2. 創傷管理関連	46		
17. 看護管理	15	演習・実習 165時間		時間数	
		統合演習	15		
		臨地実習			
		・認定看護分野	150		
		・特定行為区分別 各5症例（計20症例）以上			
総時間数 808時間					

2. 緩和ケア分野

1) 選抜要項

実務研修 内容基準	<p>1) 通算3年以上、緩和ケアを受ける患者の多い病棟、または在宅ケア領域での看護実績を有すること。</p> <p>2) 緩和ケアを受ける患者を5例以上担当した実績を有すること。</p> <p>3) 現在、緩和ケアを受ける患者の多い病院、または在宅ケア領域で勤務していることが望ましい。</p>
筆記試験 内容	<p>【選択解答式問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん看護及び緩和ケアに関連した基礎知識 ・緩和ケアの臨床実践に関する基礎知識 ・緩和ケアの臨床場面におけるアセスメントや看護 <p>【記述式問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケアの臨床場面におけるアセスメントや看護 ・緩和ケアの臨床実践に関する自身の考え

2) カリキュラム概要

(1) 教育目的

- ① 緩和ケア分野において、個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践できる能力を育成する。
- ② 緩和ケア分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行える能力を育成する。
- ③ 緩和ケア分野において、看護職等に対しコンサルテーションを行える能力を育成する。
- ④ 緩和ケア分野において、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせる能力を育成する。

(2) 教科目と時間数

共通科目 380時間		時間数	専門科目 225時間		時間数
1. 臨床病態生理学		40	1. がん看護学総論		30
2. 臨床推論		45	2. 腫瘍学概論		15
3. 臨床推論：医療面接		15	3. がんの医療サービスと社会資源		15
4. フィジカルアセスメント：基礎		30	4. 緩和ケア総論		15
5. フィジカルアセスメント：応用		30	5. がん疼痛のマネジメント		30
6. 臨床薬理学：薬物動態		15	6. がん疼痛以外の症状マネジメントⅠ		30
7. 臨床薬理学：薬理作用		15	7. がん疼痛以外の症状マネジメントⅡ		30
8. 臨床薬理学：薬物治療・管理		30	8. スピリチュアルケア		15
9. 疾病・臨床病態概論		40	9. 緩和ケアを受ける患者の家族・遺族ケア		15
10. 疾病・臨床病態概論：状況別		15	10. 臨死期のケア		15
11. 医療安全学：医療倫理		15	11. 緩和ケアにおける倫理的課題		15
12. 医療安全学：医療安全管理		15			
13. チーム医療論（特定行為実践）		15			
14. 特定行為実践		15	特定行為研修 区分別科目 22時間		時間数
15. 指導		15	1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連		22
16. 相談		15			
17. 看護管理		15	演習・実習 165時間		時間数
			統合演習		15
			臨地実習		
			・認定看護分野		150
			・特定行為区分別 各5症例（計10症例）以上		
総時間数 792時間					

3. がん薬物療法看護分野

1) 選抜要項

実務研修 内容基準	<p>1) 通算 3 年以上、がん薬物療法を受けている患者の多い病棟・外来・在宅ケア領域における看護実績を有すること。</p> <p>2) がん薬物療法を受けている患者の看護を 5 例以上担当した実績を有すること。</p> <p>3) がん薬物療法薬の経静脈投与管理の実績が 1 例以上あることを必須とする。</p> <p>4) 現在、がん薬物療法を受けている患者の多い病棟・外来で勤務していることが望ましい。</p>
筆記試験 内容	<p>【選択解答式問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ がんの病態、治療及びがん看護に関連した基礎知識 ・ がん薬物療法の臨床実践に関連した基本知識 ・ がん薬物療法の臨床場面におけるアセスメントや看護 <p>【記述式問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ がん薬物療法を受ける患者とその家族のアセスメントと看護支援を問う ・ 基本的ながん薬物療法の治療や看護を踏まえた上で、自身の考えを要約する

2) カリキュラム概要

(1) 教育目的

- ① がん薬物療法看護分野において、個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践できる能力を育成する。
- ② がん薬物療法看護分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行える能力を育成する。
- ③ がん薬物療法看護分野において、看護職等に対しコンサルテーションを行える能力を育成する。
- ④ がん薬物療法看護分野において、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせる能力を育成する。

(2) 教科目と時間数

共通科目 380時間	時間数	専門科目 225時間	時間数
1. 臨床病態生理学	40	1. がん看護学総論	30
2. 臨床推論	45	2. 腫瘍学概論	15
3. 臨床推論：医療面接	15	3. がんの医療サービスと社会資源	15
4. フィジカルアセスメント：基礎	30	4. がん薬物療法概論	15
5. フィジカルアセスメント：応用	30	5. がん薬物療法薬の知識	15
6. 臨床薬理学：薬物動態	15	6. 主な疾患のがん薬物療法	30
7. 臨床薬理学：薬理作用	15	7. がん薬物療法を受ける患者・家族のアセスメント	15
8. 臨床薬理学：薬物治療・管理	30	8. がん薬物療法の治療計画と看護	15
9. 疾病・臨床病態概論	40	9. がん薬物療法の投与管理とリスクマネジメント	30
10. 疾病・臨床病態概論：状況別	15	10. がん薬物療法に伴う症状の緩和技術とセルフケア支援	30
11. 医療安全学：医療倫理	15	11. がん薬物療法を受ける患者の継続支援体制	15
12. 医療安全学：医療安全管理	15		
13. チーム医療論（特定行為実践）	15		
14. 特定行為実践	15	特定行為研修 区分別科目 22時間	時間数
15. 指導	15	1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与管理	22
16. 相談	15		
17. 看護管理	15	演習・実習 165時間	時間数
		統合演習	15
		臨地実習	
		・ 認定看護分野	150
		・ 特定行為区分別 各5症例（計10症例）以上	
総時間数 792時間			

4. がん放射線療法看護分野

1) 選抜要項

実務研修 内容基準	<p>1) 通算 3 年以上、がん放射線療法を受けている患者の多い病棟・外来・在宅ケア領域における看護実績を有すること。</p> <p>2) がん放射線療法を受けている患者の看護を 5 例以上担当した実績を有すること。</p> <p>3) 現在、がん放射線療法を受けている患者の多い病棟・外来で勤務していることが望ましい。</p>
筆記試験 内容	<p>【選択解答式問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ がん及びがん看護に関連した基礎知識 ・ がん放射線療法の臨床実践に関連した基本知識 ・ がん放射線療法の臨床場面におけるアセスメントや看護 <p>【事例記述式問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ がん放射線療法を受ける患者とその家族のアセスメントと看護支援を問う ・ がん放射線療法の治療や患者とその家族の状況を踏まえ、自身の考えを言語化する

2) カリキュラム概要

(1) 教育目的

- ① がん放射線療法看護分野において、個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践できる能力を育成する。
- ② がん放射線療法看護分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行える能力を育成する。
- ③ がん放射線療法看護分野において、看護職等に対しコンサルテーションを行える能力を育成する。
- ④ がん放射線療法看護分野において、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせる能力を育成する。

(2) 教科目と時間数

共通科目 380時間		時間数	専門科目 225時間		時間数
1. 臨床病態生理学		40	1. がん看護学総論		30
2. 臨床推論		45	2. 腫瘍学概論		15
3. 臨床推論：医療面接		15	3. がんの医療サービスと社会資源		15
4. フィジカルアセスメント：基礎		30	4. がん放射線療法概論		30
5. フィジカルアセスメント：応用		30	5. がん放射線療法看護概論		15
6. 臨床薬理学：薬物動態		15	6. 対象に合わせた放射線療法と治療計画		45
7. 臨床薬理学：薬理作用		15	7. がん放射線療法の治療計画における看護		15
8. 臨床薬理学：薬物治療・管理		30	8. がん放射線療法を受ける患者・家族の包括的アセスメントと看護支援		15
9. 疾病・臨床病態概論		40	9. がん放射線療法に伴う有害事象マネジメントとセルフケア支援		30
10. 疾病・臨床病態概論：状況別		15	10. 放射線療法における放射線防護と安全管理		15
11. 医療安全学：医療倫理		15			
12. 医療安全学：医療安全管理		15			
13. チーム医療論（特定行為実践）		15			
14. 特定行為実践		15	特定行為研修 区分別科目 22時間		時間数
15. 指導		15	1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与に関連		22
16. 相談		15			
17. 看護管理		15	演習・実習 165時間		時間数
			統合演習		15
			臨地実習		
			・ 認定看護分野		150
			・ 特定行為区分別 各5症例（計10症例）以上		
総時間数 792時間					

5. 乳がん看護分野

1) 選抜要項

実務研修 内容基準	1) 通算3年以上、乳がん患者の多い病棟または外来等での看護実績を有すること。 2) 乳がん患者の看護を5例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、乳がん患者の看護に携わっていることが望ましい。
筆記試験 内容	【選択解答式問題】 ・乳がんの病態・治療及び乳がん看護に関連した基本知識 ・乳がん看護の臨床実践に関連した基本知識 ・乳がんの臨床場面におけるアセスメントや看護 【事例記述式問題】 ・集学的治療を受ける乳がん患者とその家族のアセスメント及び看護支援を問う

2) カリキュラム概要

(1) 教育目的

- ① 乳がん看護分野において、個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践できる能力を育成する。
- ② 乳がん看護分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行える能力を育成する。
- ③ 乳がん看護分野において、看護職等に対しコンサルテーションを行える能力を育成する。
- ④ 乳がん看護分野において、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせる能力を育成する。

(2) 教科目と時間数

共通科目 380時間		時間数	専門科目 225時間		時間数
1. 臨床病態生理学	40	1. がん看護学総論	30		
2. 臨床推論	45	2. 腫瘍学概論	15		
3. 臨床推論：医療面接	15	3. がんの医療サービスと社会資源	15		
4. フィジカルアセスメント：基礎	30	4. 乳腺腫瘍学概論	45		
5. フィジカルアセスメント：応用	30	5. 乳がん看護概論	15		
6. 臨床薬理学：薬物動態	15	6. 集学的治療を受ける乳がん患者の看護	45		
7. 臨床薬理学：薬理作用	15	7. 乳がんサバイバーとその家族への支援	15		
8. 臨床薬理学：薬物治療・管理	30	8. 乳がん患者の意思決定を支える看護技術	15		
9. 疾病・臨床病態概論	40	9. 乳がん患者のボディイメージ変容への援助技術	15		
10. 疾病・臨床病態概論：状況別	15	10. 乳がん患者のリンパ浮腫の看護技術	15		
11. 医療安全学：医療倫理	15				
12. 医療安全学：医療安全管理	15				
13. チーム医療論（特定行為実践）	15				
14. 特定行為実践	15	特定行為研修 区分別科目 29時間		時間数	
15. 指導	15	1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	22		
16. 相談	15	2. 創部ドレーン管理関連	7		
17. 看護管理	15	演習・実習 165時間		時間数	
		統合演習	15		
		臨地実習			
		・認定看護分野	150		
		・特定行為区分別 各5症例（計15症例）以上			
総時間数 799時間					

V. 出願手続き

1. 出願書類

出願書類一式は、静岡県立静岡がんセンター認定看護師教育課程ホームページからダウンロードしてください。また、様式の記載方法は『書き方見本』を参照してください。

所定の様式書類		同封書類
様式 1	入学願書	① 看護師免許証写し (A4 縮小コピー) ② 受験票返信用封筒 封筒：角形 2 号 (240 mm×332 mm) に宛先明記、 <u>460 円分の切手貼付</u> ③ 入学試験結果通知書送付用封筒 封筒：角形 2 号 (240 mm×332 mm) に宛先明記、 <u>切手不要</u>
様式 2	履歴書	
様式 3	受験志望動機	
様式 4	実務研修報告書	
様式 5	勤務証明書	
様式 6	推薦書(任意)	
様式 7	事例要約	
様式 8	受験票	

2. 出願書類提出方法

封筒に「〇〇分野 願書在中」と朱書きで明記の上、簡易書留またはレターパックライトで下記まで郵送してください。

〒411-0934 静岡県駿東郡長泉町下長窪 1002-1
静岡県医療健康産業研究開発センター内
静岡県立静岡がんセンター 認定看護師教育課程 事務担当

3. 出願受付期間

2020 年 9 月 1 日 (火) ~ 2020 年 9 月 11 日 (金) (必着)

4. 受験票の送付

提出書類一式を審査し、受験が認められた方には 10 月 7 日までに受験票を郵送いたします。受験票が届かない場合は、事務担当までお問い合わせください。

受験時は受験票を必ず携帯してください。また、受験票は合格発表まで保管してください。

5. 入学検定料

53,000 円

提出書類受理後、10月7日（水）までに納入通知書を受験者の現住所に送付します。

同封の連絡文書を確認の上、**2020年10月16日（金）**までに振り込んでください。

※ 振り込みは、ゆうちょ銀行以外の金融機関の窓口をご利用ください。

6. 出願・受験の取り直し

入学試験の出願・受験を取り消す場合は、10月16日（金）までに認定看護師教育課程に電話連絡後、11月2日までに下記の文例を参考にした書面を送付ください。送付封筒には、「出願・受験取り直し」と朱書してください。なお、提出された出願書類は、当方で破棄します。

<文例>

出願・受験取り直しについて

私事都合により、静岡県立静岡がんセンター認定看護師教育課程〇〇分野の出願及び受験を取り消します。

20〇〇年 〇月〇日 受験番号〇〇 静岡花子（自署） 印
推薦者署名 印

7. 出願上の注意

- 1) 出願書類等に不備がある場合は、受理しません。
- 2) 出願書類の記載内容が事実と相違する場合は、入学許可後でも許可を取り消すことがあります。
- 3) 一度納入された検定料については、理由を問わず返還しません。

8. 入学試験の個人情報について

出願にあたって提供された氏名、住所その他の個人情報については、本教育課程における選考試験（出願処理、選考実施）、合格発表ならびに入学手続きなど、これらに付随する業務においてのみ利用します。

VI. 入学試験

1. 試験日と会場

1) 実施日

2020年11月5日(木)・11月6日(金)

試験日はいずれか1日のみです。各分野の受験票送付時に試験日をお知らせします。

2) 試験科目及び実施時間

	時 間	試 験 科 目
筆記考査	10:00 ~ 12:00	専門科目 (選択解答式、記述式)
口述考査	12:30 ~	個人面接(15分程度)

※口述考査は原則として受験番号順とします。

3) 試験会場

静岡県駿東郡長泉町下長窪 1002-1 静岡県医療健康産業研究開発センター内
(ファルマバレーセンター)

2. 合格発表

1) 発表日時

2020年11月27日(金) 午前11時

2) 発表場所

静岡県立静岡がんセンター認定看護師教育課程 ホームページ

3) 入学試験結果の通知

合格発表後、入学試験を受験した者全員に合否を郵送で通知します。

合否の結果に関する電話等による問い合わせは一切受け付けません。

4) 補欠・繰上げ合格

合格者より辞退が出た場合、補欠者の中から繰上げ合格とします。

※補欠自体は合格ではありません。合格発表後、対象者に郵送で通知します。

Ⅶ. 入学手続きおよび納付金

1. 入学手続き

- 1) 合格者には、合格通知時に入学手続きについての詳細をご案内します。
- 2) 誓約書の提出期日は、2020年12月17日(木)(必着)です。

2. 納付金

入学金：53,000円

授業料：978,000円 ※図書費・教材費、臨地実習中の宿泊費、交通費及び資料代は含みません

- 1) 誓約書を受理した後、納入通知書を送付します。
- 2) 振り込み期日は、2021年1月29日(金)です。

3. 入学手続き後の辞退について

入学手続後に入学を辞退する場合は、認定看護師教育課程に電話連絡後、下記の文例を参考にした書面を送付してください。送付封筒には、「入学辞退」と朱書してください。

なお、納入された入学金・授業料は原則として返還しません。

<文例>

入学辞退届				
私は、下記の理由により、入学を辞退いたします。				
(理由)				
20〇〇年	〇月〇日	受験番号〇〇	静岡花子(自署)	印
			推薦者署名	印

Ⅷ. 試験結果の開示

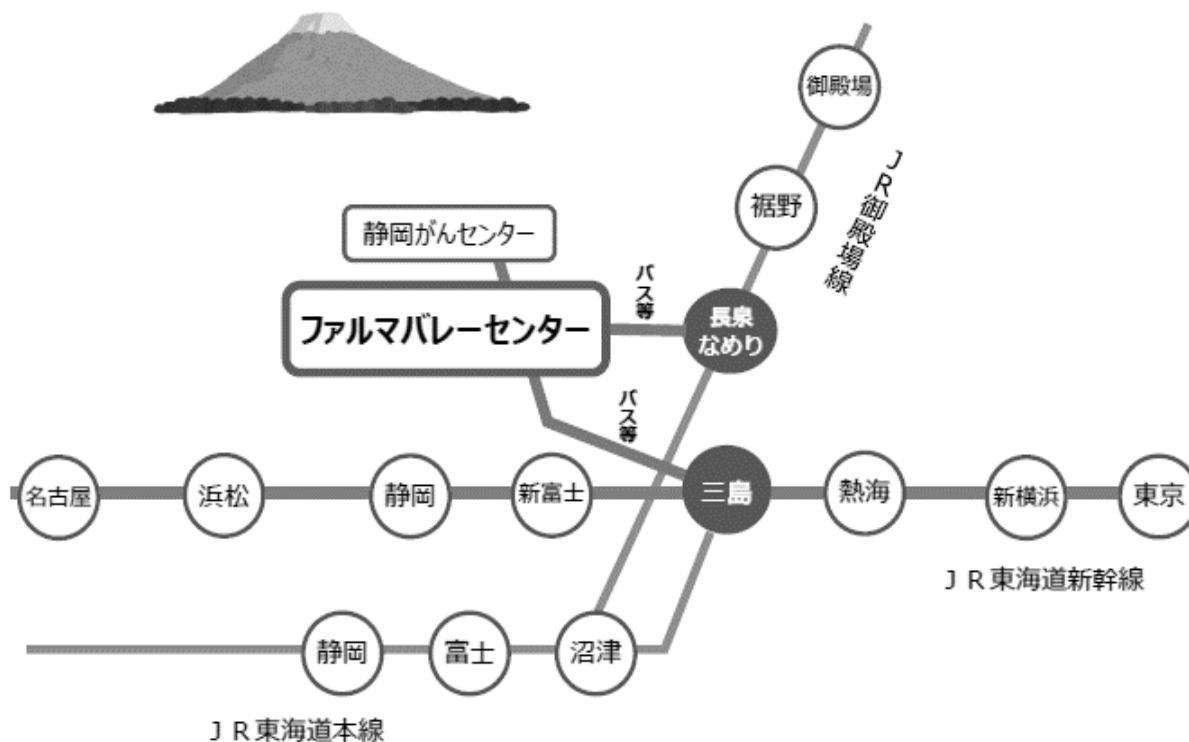
受験者は、自己情報の開示を請求することができます。開示を希望する者は、認定看護師教育課程事務担当へ平日9時～16時に電話で日程調整後、受験票を持参のうえ、直接来校してください。なお、郵送等による開示請求はできません。

開示請求できる人	開示内容	開示期間	開示場所
受験者	総合得点及び順位	合格発表日より 1か月間	静岡県医療健康産業 研究開発センター内

開示対応時間：土日祝日を除く午前10時～11時30分、午後13時30分～15時まで

開示請求希望連絡先：(055) 980-5191

静岡県医療健康産業研究開発センター（ファルマバレーセンター）への交通案内



- ・JR東海道線 三島駅からタクシー利用の場合、約15分
（バスで約25分、「ファルマバレーセンター」下車）
- ・JR御殿場線 長泉なめり駅からタクシー利用の場合、約5分
（バスで約10分、「ファルマバレーセンター」下車）

問い合わせ先

〒411-0934 静岡県駿東郡長泉町下長窪1002-1
 静岡県医療健康産業研究開発センター内
 静岡県立静岡がんセンター 認定看護師教育課程 事務担当
 電話番号 (055) 980-5191